

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和８年度第１回嬉野市総合計画審議会・総合戦略推進委員会会議録		
開催日時	令和８年４月２３日(木) ９：３０～１１：００		
開催場所	嬉野市役所 塩田庁舎３階 ３－２会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	０人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	山下勝一郎、戸田順一郎、西川潤一、深村頌子、坂口典子、 宮崎憲太郎、谷山佳世、久野裕子、山口輝、一ノ瀬稔、 小野裕介	
	事務局	政策部長、企画政策課長、副課長、主査	
	その他		
会議の議題	① 開会 ② 委嘱状交付 ③ 挨拶 ④ 協議事項 （１）第３次嬉野市総合計画案の検討 （２）その他 ⑤ 閉会		
配布資料	① 令和８年度第１回嬉野市総合計画審議会・総合戦略推進委員会次第 ② 第３次嬉野市総合計画案		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 第3次嬉野市総合計画案の検討 2. その他		
内 容	1. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等 2. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	1. 第3次嬉野市総合計画案の検討 (第3次嬉野市総合計画案について説明)	
	議長	多岐にわたる資料だが、委員にはどの分野から、どのようなレベル感の議論をお願いしたいか。	
	事務局	レベル感については基本計画についてご審議頂く中で、10年後の目指す姿から具体的な取り組みを示している。 基本計画の各分野(23ページ以降)について、「10年後の目指す姿」から具体的な取り組みを示しているレベル感でご審議いただきたい	
	議長	各分野の「10年後の目指す姿」について(例:24ページ「すべての子どもが安心して育ち…」等)、「実現します」と言い切っているが、公約のようになっており「実現しなかったじゃないか」と言われるものではないのか。位置付けを伺いたい。	
	事務局	行政として目指していくという意思を持って「実現します」と強めの文末にしている。抽象的な内容であるため、「目指す姿」そのものの評価検証につなげる意図はないが、その下の具体的な取り組みについては評価検証を進めていく。	
	委員	現行計画の検証はしないのか。「10年後の目指す姿」には今すぐに実現すべき内容も含まれており、10年後はさらに上を目指すべきではないか。	
	事務局	第2次後期計画の個別施策について各課へヒアリングし、その評価結果をもとに今回の計画を組み立てているため、これまでの評価と全く結びつけていないわけではない。	
	委員	各分野の関連するSDGsの番号だけでなく、アイコンを記載した方が視覚的に分かりやすい。また、計画を知らない市民が自分事に落とし込めるよう、各施策の下段にある「住む人の役割」「関わる人の役割」をも	

		う少し具体的に記載してほしい。例えば 33 ページ（健康・医療）の「関わる人の役割」にある「市民の健康づくりを身近な場で継続的に支援しましょう」というような表現を、より自分ごとに落とせる書き方にしてはどうか。
	事務局	SDGs はアイコンを記載し、計画の見方を説明するページを冒頭に挿入する。「関わる人の役割」については関わる人が多いほど抽象的になりがちだが、自分事に落とし込みやすいよう再度内容を精査する。
	委員	市民に公開するのであれば用語集をつけてほしい。また、各ページに多数記載されている「関連計画」はすべて市民が見られるものなのか。見られないのであれば載せない方がよいのではないかな。
	事務局	用語集は後日作成する。関連計画は基本的に公開されているものを載せている認識だが、ホームページ等で確認できるか再度確認し、見られないものがあれば削除等も含めて検討する。
	議長	関連計画は掲載できるものは掲載する方向が大事であり、厳選して減らす必要はないと思う。
	委員	関連計画は、大元であるこの総合計画（1 ページ「総合計画の位置付け」）を基に作られているという認識でよいか。
	事務局	総合計画が上位にあり、その下に各分野の計画がぶら下がる形である。策定タイミングの違いでズレが生じることもあるが、個別計画を見直す際に方向性の整合性を取っていく。
	委員	57 ページの「商工業」の関連計画は現在「一」となっているが、「経営発達支援計画」や「中小企業・小規模企業振興条例」など他にも該当するものがあると思うので確認してほしい。
	委員	分野によって関連計画が全くないところがある一方、教育分野（62 ページ等）は非常に多い。全体として他自治体と似通った隙のない文章になっているが、嬉野市ならではの重点的な施策が見えにくい。
	議長	総合計画の性質上、全分野を網羅しなければならないため、どうしても総花的な印象になってしまう部分はある。
	事務局	嬉野市らしさについては、今後考案する「総合戦略」や実施計画など、より具体的な施策レベルの中で出していきたい。
	議長	関連計画の記載の有無や細かさについて、各課に確認してレベルを揃えているのか。

事務局	各課に照会して取りまとめたが、どこまでを関連計画とするかの判断が各課に委ねられていたため差が出た。全体を見て関連計画のレベルを揃える作業が必要だと感じている。
委員	関連計画の記載は、市民にとってヒントとして活きると思うので記載があってよい。
委員	62 ページ「学校教育」の関連計画は「嬉野っ子わくわくデザイン」だけに絞ればよいのではないか。「嬉野市民わくわくデザイン」は社会教育なので分野が異なる。
事務局	社会教育の担当も学校教育課であるため一括で記載された背景があるが、分野の移行（生涯学習・青少年育成等への移行）も含めて確認・検討する。
委員	36 ページ「自然と都市景観」の「①嬉野らしい景観を守り育てるまちなみの整備」に「茶畑」の記載があるが、山間部の荒廃地が増え平たん部が増えている状況がある中、茶畑を何かに変えて景観を維持するより、そのまま茶畑として継続して景観を維持したい意向がある。嬉野らしさとして計画内に表現してほしい。
事務局	農業が持つ多様な価値の一つとして、反映できるよう努める。
委員	計画実行における単年度のスケジュールはどうなっているか。立派な計画ができて、現場が動かなければ結果に繋がらない。
事務局	3 ページの「計画の期間」に記載の通り、具体的な実施計画である「総合戦略」は5年間を区切りとし、毎年10月に前年度の評価検証を行う。その後、年度末に次年度の改訂を行うサイクルで、年2回ほど本委員会を開催して検証と検討を行って頂く。策定時にも各課とやり取りし、総合戦略に沿った事業の認識を現場と共有して進める。
委員	50・51 ページの道路・交通について、具体的な取り組み「⑤新幹線・広域道路を活かした交通ネットワークの形成」など、単なる維持・整備だけでなく、将来像（16 ページ）を見据えて「わくわくする」「賑わい」などの要素を文章の中に入れてほしい。
委員	78 ページの財政計画の取り組み「④公共施設の適正管理と見直しの推進」に老朽化した施設の記載があるが、老人福祉センターなどについても中期財政計画等の中で見直しの計画を明記してほしい。高齢者の賑わいの場としても検討を要望する。

	事務局	塩田庁舎の活用計画（塩田公民館や老人福祉センターを含む）等との関連はあるが、この基本計画の時点で具体的に「こうします」と書き込むのは難しい。
	委員	40 ページの脱炭素社会の取り組み「①再生可能エネルギーの導入と地域への普及促進」の太陽光発電（ソーラーパネル）について、作られた電気が直接嬉野市民の家庭に届いていなければ「エネルギー自給率向上」という表現は正しくないのではないか。
	事務局	大規模な太陽光発電は新電力会社等に売電されており直接家庭には供給されていない。大規模開発業者を支援する趣旨ではなく、市民や事業者への導入支援を通じて脱炭素化を進める大まかな方向性を示したものである。
	委員	SDGs の表記について、目標年が 2030 年までとなっているため、策定時点では載せるべきではないか。削除は難しいと思う。
	事務局	2030 年までの目標であることや、ただアイコンを載せるだけではとの懸念から、他自治体でも記載しないケースが増えている。序論（第 1 部）にまとめるか等、記載の仕方については再度検討したい。
	委員	載せるか載せないかではなく、作り手である市役所が大切にしている思いがあるなら載せればよい。単なるマークを付けるだけではなく、各施策とどう連動するのか明確に伝える検討をしてほしい。
	事務局	2. その他 基本計画にぶら下がる総合戦略（実施計画）の策定に向け、5 月 8 日に各課から職員を集めてワークショップを実施予定である。次回の会議では具体的な総合戦略の案を提示したい。
その他		今後の委員会予定について説明。次回は令和 8 年 6 月 3 日（水）9:30～、塩田庁舎の 3-2 会議室にて基本計画案について協議・検討予定。